市民研通信

2022年 2月 通巻 211号 65

「めざせ、子どもシェフ!ー 食と農のとびっきり体験」は、若い頃に「自炊力」を身につけることを主眼においています。科学の学びをとおした調理の技の習得、革新的な都市農業の実践者との交流、そして自ら「シェフ」となって地域で食を提供する体験、の三者を複合させたイベントによって、未来のよりよい食と農の形を創造する力を養うことを目指します。小学校5年生から高校3年生までの子どもたちが集い、月2回（原則として第2第4日曜日の午前）の講座（「身につけよう!キッチンサイエンス」と「訪ねてみよう!都会の農家さん」）がすでに始まっています。まだ若干名申し込みを受け付けていますので、参加希望者は市民科学研究室までお早めにご連絡いただければありがたいです。

Information

NPO法人市民科学研究室 & NPO法人ポラン広場東京 共催
「めざせ、子どもシェフ！ 食と農のとびっきり体験」

「キユーピーみらいたまご財団」の助成を受けての通年の特別企画です。

A：身につけよう!キッチンサイエンス（10回）
B：訪ねてみよう!都会の農家さん（7回）
C：集まれ!子どもシェフが腕をふるう（4回）

◆2022年 5月から8月の予定◆

05/08 A① ご飯が炊ければ、何とかなるぞ（「巻き寿司」の先生も登場!）
05/22 B① 畑に行ってみよう!ベランダ菜園も教わろう（国立市・農天気）
06/12 A② 「お味噌汁+野菜」で一日を始めよう
06/26 B② 牛さんに会いに行こう!（八王子市・磯沼ミルクファーム）
07/10 A③ 「ダシ」から「味」の秘密を探る
07/24 B③ 野菜の収穫、手伝ってみよう!（国立市・農天気）
08/07 A④ 旬の野菜でおかずを作る
08/21 B④ （現在調整中）

●対象：小学5年生～高校2年生（保護者の同伴なく本人のみの参加が可能であること）で、定員20名。ただし、上記対象の子どもたちが定員に満たない場合は、「訪ねてみよう!都会の農家さん」については単独の回での大人の参加も（保護者の同伴も含めて）可能です。ご関心のある方はぜひこちらからお問い合わせください。

●参加費：
▶全回参加が原則で一括払いで10,000円
（A）5,000円（10回分）＋B）7,000円（7回分）のところを割引）
▶単独参加の場合は A）1回500円 B）1回1000円
参加希望者は、市民研ウェブサイトにある申込みフォームからご連絡ください。

Information

パンフレット『「5G」ここが問題!』
好評、発売中！ 50部以上で半額・送料無料

市民科学研究室のウェブサイトのトップページに掲げた「パンフレット『「5G」ここが問題!』増刷しました」という項目を開いて、そのページにある申込みフォームからお申し込みください。

<内容>
5Gが始まるけど…
5Gとは
5Gの性能
5Gは電波をたくさん使う
スモールセル
ビームがあなたを狙い撃ち
企業や行政機関などへも売り込む
5Gより前の電波による健康影響
多くの国で予防的措置
5G電波は強い
従来とは異なる被曝パターン
5G電波の健康影響は
5Gへの異議申立て
私たちに何ができるか
さらなる情報

Information

2022年度6月期 会員の新規／継続の登録 受け付け中！
～レイチェル会員、ファーブル会員、ダーウィン会員～

市民科学研究室には、「レイチェル会員」「ファーブル会員」「ダーウィン会員」の3種類の会員があります。そして、現在会員であるうちの多数の方が、この6月に会員登録更新を迎えることになります。現在会員である方にはその継続の、そしてこれから新しく会員になってみようという方には新規の、お手続きをこの年末の時期にしていただければ大変ありがたいです。

会員になると、隔月の『市民研通信』がメール配信され（一部の方々には郵送）、どの会員も「市民科学研究室メーリングリスト（ML）」に登録されます。また希望に応じて各種研究会のMLに登録することもできます。

レイチェル会員には総会での議決権があり、市民科学研究室が今後発行する有償の出版物などがすべて無償で送付されます。また、レイチェル会員とファーブル会員は市民科学研究室が作成した市民科学講座などの動画をすべていつでもご覧いただけます（現在までに約140本掲載中）。そしてダーウィン会員を含むどの会員も、市民科学研究室が主催する講座やイベントにオンラインで参加する場合は、すべて無料になります。

団体で会員になっていただくこともちろん受け付けておりますが、その場合は、必ずレイチェル会員として登録していただきます。連絡先の宛名は団体名（領収書も団体名宛て発行いたしします）、こちらに登録するメールアドレスはその団体を代表するどのたか1名のアドレス、講座やイベントへの参加も1名の枠で受け付けることになります。

非営利の活動を活発にすすめていくために、一人でも多くの方のご支援を必要としています。
どうかよろしくお願いします。

Information

市民科学研究室ウェブサイト
毎日更新の3つのページをご紹介します

市民科学研究室のウェブサイトは、この『市民研通信』の記事論文をはじめ、たくさんの情報を載せていますが、ほぼ毎日という高い頻度で更新しているページがいくつかありませので、それを紹介します。

●市民研サーチライト
一日一編、ウェブで無料で全文が読める記事論文から、読むに値する良質なものを1つ選んで紹介しています。

●市民研動画 個別購入
市民研の各種講座などが開かれる度にその動画を掲載しています（会員になるか、個別に視聴料を払えば、誰でも観ることができます）。

●他団体主催のイベントのご案内
「科学と社会」に関係する様々なイベントの日程をカレンダーにして掲げています。

市民科学研究室・代表理事 上田の個人ブログ
「湯之島嬉遊曲」をご紹介します

市民研・代表の上田が2022年1月1日から欠かさずに市民研メーリングリストに<市民研・一日一話>と題して投稿している記事を、個人ブログ「湯之島嬉遊曲」にも収めています。市民科学研究室の日々の活動のこと、本や音楽のこと、おすすめのグッズのことなど、随筆風に綴っています。

市民研へのご入会／ご寄付のご案内

市民研の活動は会員となってくださる方々の会費やご寄付によって支えられています。
市民研の活動にご賛同いただける方、支援をしていただける方には、ご入会やご寄付をお願いいたします。
ご送金・ご入会・ご寄付につきましては以下のやり方でお願いしています。

●100円単位の送金 100円単位のカンパや少額の送金（郵送費など）にご利用ください。
市民科学研究室の新しいウェブサイトのメインメニューに**「ご支援のお願い」**があります。そこから「市民研オンラインショップ」のサイトにつながります。そのなかに、「一口100円ご送金」のカートがありますので、ご利用ください。

●会員登録 年会費を送金して次のいずれかの会員になることができます。
★正会員（レイチェル会員）……年会費 10,000円（議決権、動画見放題、参加費無料）
★賛助会員Ⅰ（ファーブル会員）……年会費 5,000円（動画見放題、参加費無料）
★賛助会員Ⅱ（ダーウィン会員）……年会費 3,000円（参加費無料）

会員になると、以下のサービスを受けることができます。
1. 隔月の機関誌『市民研通信』の送付（会員は全文アクセス可、非会員には有料の記事論文あり）
2. 市民研メーリングリストへの全会員の登録
3. 市民研の各種研究会への参加（オンラインでの参加はすべての会員は無料）
4. 市民研のイベント動画がいつでもどれでも見放題（レイチェル会員とファーブル会員のみ）
5. 市民研が刊行した出版物の寄贈（レイチェル会員のみ）
6. 市民研主催の市民科学講座・各種イベント・研究会での配布資料、市民研の代表や理事メンバーらが講師として招かれた講演などの配布資料のうち、公開可能なものから精選して送付
7. 市民科学研究室所蔵の書籍・文献資料や映像資料の借り出し（期限1ヶ月）

●ご寄付 一口1,000円から受け付けております。ご送金の方法は以下のいずれかでお願い致します。
郵便振替用紙にて……口座加入者名：市民科学 振替口座番号：00160−4−608503
クレジットカード決済……市民研サイトのオンラインのカートより（「ご寄付・ご支援」コーナー）
お持ちの銀行口座から……「ゆうちょ銀行」支店名：〇一九 口座番号：608503 宛に

NPO法人 市民科学研究室 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-14-9 角田ビル2F
Tel: 03-5834-8328 Email: renraku@shiminkagaku.org

Article

山口 直樹（北京日本人学術交流会責任者、市民研会員）

【連載】「日中学術交流の現場から」 第10回

北京からゴジラ同級生俳優、宝田明さんへの手紙（第一便）

はじめに

拝啓　ゴジラ同級生俳優、宝田明さま

ごぶさたしています。先日は、著書『僕はゴジラの同期生』をいただきましてありがとうございました。興味深く読ませていただきました。

思えば、宝田さんとのつきあいもかなり長くなってきました。北京にお招きするつもりが、まだ実現できないまま、先の見えない世界的なコロナ禍で、非常に日本と中国の間の移動もやりにくくなり、いささか困ったことになっていますが、新聞やテレビなどでは、たまに宝田さんの姿を拝見しています。

『ゴジラ』(1954)の関係者では、社会党所属とおもわれる女性議員を演じた菅井きんさんやゴジラの中にはいって奮闘した中島春雄さんもついになくなってしまいました。残念というほうかはありませんが、いまや、宝田さんが、もっとも古株となり『ゴジラ』(1954)の関係者のなかで「現存する最古の生物」となっているかとおもわれます。

宝田さんが立候補しようとした「国民怒りの党」を立ち上げた小林節氏と『安倍「壊憲」を撃つ』という対談本を出している経済評論家の佐高信氏が好んで引用する俳優、成田三樹夫の言葉に以下のようなものがあります。

「最近の役者というのは、いやらしいのが多すぎるよ。総理大臣主催のナントカ会というと、ニコニコして出かけていって、握手なんかしているだろう。権力にヘタヘタするみたいな役者じゃ意味ないよ」……

【続きは市民研HPにて】

Article

桑垣 豊（市民研・特任研究員）

【連載】21 世紀にふさわしい経済学を求めて　第14回

番外編　経済問答　その2（つづき）

●バブル経済の時代

比良木

この図で注意していただきたいのは、あくまで1980年を基準にしていることです。グラフで、円での物価の相対的低下を円高が超えていますが、1980年時点で円が安すぎた可能性が高いので、2007年ごろまで円が高すぎたと解釈することはできません。ただし、プラザ合意後の円高は急激すぎたのは確かです。日米ともに、西ドイツ（マルク）も、貿易業務に携わっていた人はもちろん経済全体に大きな影響をおよぼします。そして、ドルを通じて世界中が迷惑をこうむります。

石清水

輸出産業を中心に大変なことになると、各方面で急いで対応を迫られました。

比良木

日本銀行は、円高対策として強力な金融緩和を実施します。それが長期にわたる低金利政策です。投資資金を借りやすくして、景気を支えるということなのですが、その投資先が問題でした。

石清水

その後、株や土地の値段が急上昇します。バブル経済ですね。

比良木

株や土地などの金融資産の価格高騰だけだったら、熱が冷めたときに、おおむね元にもどるのですが、実体経済にも影響しました。実体経済に影響すると、簡単には安定した経済状態にもどりません。株や土地だけでも、結構社会に影響するのですが、実体経済が動くと大変なことになります。

石清水

具体的にはどんなことがおきたのでしょうか。1980年代後半と言えば、リゾートブームを思い出します。

比良木

日本経済は欧米にひけをとらないくらいに豊かになったので、……

【続きは市民研HPにて】

Article

瀬野 豪志（NPO 法人市民学研究室・理事）

【連載】 美味しい理由―「味の素」の科学技術史　第3回

「感覚」の科学研究と「味覚」

「私はピッタリ催眠薬をやめたから、仕事のあとで眠るためには酒にたよらざるを得ない。必需品であるから、酒を快く胃におさめるために、他の食物を節しなければならない。なぜなら、私は酒を味覚的に好むのではなく、眠り薬として用いるのであり、それを受けいれる胃袋は、益々弱化しつつあるからである」（坂口安吾「わが工夫せるオジヤ」）

坂口安吾が44歳のときに書いた「わが工夫せるオジヤ」は、料理についての話では珍しく、「二ヶ月ほど前に胃から黒い血をはいた」というシーンから始まる。それは、ウィスキーをストレートで飲み続けて「胃を酷使した」からだというが、そのような飲み方は、睡眠薬のかわりに強い酒を飲んでいたためであった。彼は売薬の睡眠薬「アドルム」の中毒になり、症状がひどくなったため、42歳のときに東大病院の精神科に入院していた。アドルムは二十錠で致死量に至るとされていたが、彼は一度に五十錠以上も飲んでいたといわれている。ちなみに、そのアドルムは「苦い味」がしたそうである。

安吾は、入院を機に、睡眠薬のアドルムを断ち切り、そのかわりに、ふたたび、強い酒を飲まなくてはならないからには、胃を大事にしなくてはならない、だから「オジヤ」が良いのだという、彼なりの必然性が語られている。

しかし、「チャンコ鍋やチリ鍋のあとの汁でオジヤを作っていたが、これを連用して連日の主食とするには決して美味ではない」という。睡眠薬がわりの飲酒と胃の状態の理由が第一にあるようだが、「毎日たべて飽きがこないという微妙なものではない」のである。

「我が工夫せるオジヤ」は、肉や野菜を三日以上煮込んだスープストックによるもので（三日以下だとまずいらしい）、「それ自体をスープとして用いると、濃厚で、粗雑で、乱暴であるが、これぐらい強烈なものでもオジヤにすると平凡な目立たない味になる」のだという。……

【続きは市民研HPにて】

Article

倉本 宣（明治大学農学部、市民研会員）

生きもの屋でない市民が自然保護にかかわる可能性

前報で、市民が自然保護にかかわるには同定能力が必要なことを述べた。それには一般にその生物群に対する「目」が必要だとされている。

1．種の識別の重要性

東京都の府中四谷橋の工事の際にアセスメントを請け負った大手の建設コンサルタント会社がカワラノギクを識別する能力がなかったため、カワラノギク個体群に配慮した工事が行われず、1990年代半ばの多摩川で2番目に大きなカワラノギクの局所個体群が絶滅した（倉本ら1997）。カワラノギクは場所によっては個体数が多いものの、分布域が狭く、個体群の数も少ない絶滅危惧植物である。開花個体は同定が容易なものの、ロゼット個体は知らないとオオアレチノギクやヒメムカシヨモギなどの外来種と誤認しやすい（写真）。

多摩川の自然を守る会では、多摩川の礫河原固有種や代表種の分布についての情報を、河原を踏査して詳細に記録してきた。それは、多摩川における工事の際に、多摩川の自然を守る会から河川管理者である国土交通省京浜河川事務所に対する意見の根拠として有効に活用されてきた。……

【続きは市民研HPにて】

【写真】
左　カワラノギクのロゼット個体（多摩川）
中　ヒメムカシヨモギのロゼット個体（多摩川）
右　オオアレチノギクのロゼット個体（国立市東）

Article

山根伸洋（市民科学研究室会員）

【連載】 開発主義政治再考　第5回

補論／田園都市国家ないし国家の空間的実践をめぐって

1970 年代末、全国総合開発計画（以下、全総）から日本列島改造論にいたる高度経済成 長政策、そして国家的メガイベントである1964 年開催の東京オリンピックから1970 年大阪万国博覧会にいたる開発主義政治全盛の時代を踏んで、「オイルショックを契機」とする 反省と見直しの時代に入るのが 1970 年代の半ば以降の一般的な経済動向に対する理解だろう。2010 年代の安倍政権の時代において、2011年３月11 日の東日本大震災からの「復興」を象徴する国家的メガイベントとして、2020 年東京オリンピックならびに2025 年大阪・関 西万国博の開催が決定された。この経緯から読み取れることは、1960 年代の全総から新全国総合開発計画（以下、新全総）、そして日本列島改造論に至る時代を「成功経験」として位置づけ、その時代への憧憬を動員・組織化することで、2010 年代の東日本大震災からの「復興」を成し遂げようという強い願望がそこに込められていたということであろう。だが、必ずしも市民的に共有されているわけではない歴史的記憶の参照を強いるような国家的メガイベントの開催をもって「経済成長」の実現が達成されつつあるといった演出がなされるとしたら、東日本大震災の復興をめぐる諸課題の現実へ誠実に向き合うことへの妨げとなる危険性がある。と同時に、戦後の高度成長期に顕現する様々な開発主義政治の矛盾 の忘却と、ある種の「成功経験」の語りの横行を許してしまうことになりかねないのではないだろうか。2021年の秋口には一層深刻化するコロナ禍において、新しい資本主義を標榜する政権が誕生する。……

【続きは市民研HPにて】

Article

林 浩二（千葉県立中央博物館）

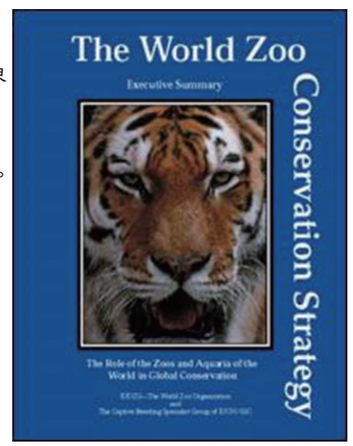
【連載】 博物館と社会を考える　第11回

博物館の世界的組織の環境保全と教育への取り組み

博物館の世界的組織の環境への取り組みについてわたしは、林 浩二（2008）以来関心を持ち続けてきました。このところ動きが激しいのは、2015年の国連での持続可能な開発目標（SDGs）の採択と呼応しているように思います。歴史的記述についてはこれまでの連載との重複もあることをお許しください。本稿の一部については林浩二(2020・2021)でオンライン・ポスター発表しました。

1．はじめに

博物館には館種ごとに世界的組織があります。ここでは、博物館全体については国際博物館会議（International Council of Museums, ICOM）、動物園・水族館については世界動物園水族館協会（World Association of Zoos and Aquariums, WAZA）、植物園については植物園自然保護世界機構（Botanic Gardens Conservation International）を取りあげます。加えて、世界的会合を定期的に開催し、宣言などの文書を発表している世界科学館サミット（Science Centres World Summit）についても言及します。



国連教育科学文化機関（UNESCO）は、2003年の国連総会において、国連「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」（2005-2014）の主導機関に指名されました。また国連総会が2015年に採択した、2030年までの世界の目標「持続可能な開発目標（SDGs）」の進捗のとりまとめもUNESCOが行っています。……

【続きは市民研HPにて】